

- 問1 遠洋漁業の生産量が、1970年代から大きく減り続けている主な理由は何ですか。
- 問2 農家の人々が集まって、農業のやり方を教え合ったり、農作物をまとめて売ったりする組織のことを何といいますか。
- 問3 漁港の近くに建てられている、水揚げされた魚を競りにかけるための施設を何といいますか。
- 問4 海の中に「いけす」などの施設を作り、魚や海そうを人の手で管理して育てる漁業のことを何といいますか。
- 問5 林業において、木と木の間隔を広げて日光が地面まで届くようにし、木の成長を助けるための作業を何といいますか。
- 問6 農家が「産地直送」でお客さんに商品を届けることで、どのような良いことがありますか。
- 問7 暖流や寒流が近くを流れ、海そうやプランクトンが多く、よい漁場となっている浅い海底のことを何といいますか。
- 問8 群馬県や長野県の高原地域で、夏から秋にかけてキャベツやレタスをたくさん出荷しているのは、なぜですか。
- 問9 栽培漁業において、わざわざ稚魚を育ててから自然の中へ「放流」するのはなぜですか。
- 問10 地産地消を行うことで、どのような良い効果がありますか。
- 問11 人工的に育てた稚魚を、ある程度の大きさになるまで守ってから海や川に放し、自然の中で成長させてからとる漁業のことを何といいますか。
- 問12 「地産地消（ちさんちしょう）」とは、どのようなことですか。
- 問13 昔と比べて魚の生産量が減っている中で、養殖漁業がさかんに行われるようになった一番の理由は何ですか。
- 問14 暖流と寒流がぶつかり、よい漁場となっているところを何といいますか。
- 問15 農家が収穫したお米を、市場などを通さずに消費者のもとへ直接送る販売方法を何といいますか。
- 問16 魚市場で行われる「せり」には、どのような役割がありますか。
- 問17 農薬や化学肥料にたよらないで行う栽培方法を何といいますか。
- 問18 国や自治体が、魚の量や期間を制限するような「漁獲規制」を行う一番の目的は何ですか。
- 問19 牛やぶた、にわとりなどを飼って、肉や牛乳、卵などを生産する仕事を何といいますか。